

(様式)

徳島市八万小学校：「学力・学習状況」改善プラン

徳島市八万小学校長 上田 威彦 印

- 1 学力向上推進員 職・氏名 (指導教諭・星山理恵)
- 2 学力向上検討委員会構成

職名	氏名
校長	上田 威彦
教頭	荒井 清臣 西岡 一郎
指導教諭	星山 理恵
教諭	廣瀬恵美子 近藤 和子 水口 順子 島田 美穂
	津田 愉美 山崎 暁子 片山 拓也 川人 由佳

3 現状・課題

学力	<p>本校は平成 22 年度 23 年度と算数教育研究大会の会場校となり、算数科授業の実践研究を重ねてきた。既習事項を活用して課題を解決することによって理解が深まったり、振り返りの充実を行うことによって探究の意欲を持つことができたり等の大きな研究成果が得られた。「八万スタイル」と名付けた授業形式は統一大会後もずっと継続して算数の授業に活かされ、研究の大きな財産として共有されている。</p> <p>このような成果を他教科にも取り入れていくとともに、やはり基礎基本を確実に身につけることを重点目標としたい。さらに課題解決のために必要な思考力・判断力・表現力を育てるためには「自分の考えと比べながら聞く力」「筋道の通った話す力」「意見を聞いて話し合う力」を身につけることが重要であると考え。また、これらを支えるためには「書く」ことも必要となってくるであろう。聞きながら書く、話す前に書く、感想を書くといった活動が習慣化できるよう、授業を通して日々取り組んでいきたい。</p>
学習状況	<p>平成 24 年度の教職員アンケートでは「学ぶ意欲を育て、家庭学習の習慣化を図るよう指導している」と「学習の基礎的・基本的なことがらが定着できるように指導している」の項目で、ほとんどすべての教職員が肯定的な結果を出している。保護者アンケートでは「家庭学習定着」「学習活動に真剣に取り組む」「わかる授業」「学力向上に力を注いでいる」の項目で 80 %をこえる評価を得ている。</p>

4 目標等

(1) 学力について

重点目標：基礎的・基本的な学力を身につけ、言語活動の充実を図る。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
○基礎的基本的な学習内容の定着をはかる。	・単元ごとのテストや評価でおおむね満足できる児童が 80 %をこえる。	・朝の活動や家庭学習の内容を充実させ、ドリル学習反復練習の他に視写・短文作り・暗誦・読書などを推奨する。	勉強が分かるという評価は目標を超えた ④・3・2・1	・朝の活動については年間計画をつくる等の全校的な取り組みが望まれる。
○知識・技能の既習事項を活用できるようにする	・振り返りの習慣を新しい学習に生かせる児童をふやす	・授業力向上の校内研修を進め振り返りや話し合いの場面を取り入れた授業をめざす。	授業の向上が見られた ④・3・2・1	・「八万スタイル」の大研を年度当初に実施する。
○問題解決のための思考力・表現力を育てる。	・自分の考えや意見を言えたり書けたりする児童の評価が 80 %をこえる	・書いたり話したりする活動を多く取り入れて、伝えたいことを筋道を立てて伝えられるようにする。	目標を僅かに超えた 4・③・2・1	・言語活動の充実のための研究授業や研修の機会を取り入れる。

(2) 学習状況について

重点目標：自ら進んで学ぶ意欲を育てる。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
○望ましい学習態度や構えを育てる。	・話を聞ける児童の評価が 80 %をこえる。	・学習ルールを徹底させる。 ・学年便りや懇談等で、家庭への啓発や協力を呼びかける。	目標を僅かに超えた 4・③・2・1	・学級経営についての研修を充実させる。

※評価欄の上段には、各具体的目標における数値目標の達成状況について記入する。下段には、達成状況を「4 十分できた 3 概ねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった」で判断し、該当番号に○を付ける。